

QCサークル幹事会社・幹事のメリット

幹事会社になると、会社として得られるメリットおよび幹事自身が得られるメリットがそれぞれ以下の通りあり、得るところは大変大きい。

幹事会社として 会社得る メリット

幹事会社としての自覚は、社内のQCサークル活動に刺激を与えると共に幹事はもちろんリーダー、メンバーも幹事会社としての誇りと自信を持てる

支部・地区活動を通じて自社幹部の教育となり、QCサークル活動の土壌づくりに積極的になる。また、QCサークル活動の評価が高まりTQM活動にも寄与できる。→企業の業績につなげる。

支部・地区活動を通じてQCサークル活動の方針がより充実し、自社のQCサークル活動を自信をもって進められるようになる。また、自社の活動の反省ができる

他社、異業種との接触が広まり、それを業務にも役立てることができる。そして、自社の地域社会への貢献の意識が助長される

QCサークル交流会がやりやすくなり、他社の良い点を導入できる。また、同一業種に限らず広い分野で他社との交流ができる

会社として支部、地区行事の運営方法などが導入できる

自社のQCサークル活動がPRできて、社員のモラルアップに寄与できる

自社のPRができイメージアップに役立つ

幹事自身が得る メリット

幹事相互の交流を深めることにより、幹事相互の人間関係を醸成し、自己啓発、相互啓発ができ、リーダーシップが養成される

地域社会と接触して多くの情報、知識を得ることができ、地域社会へ貢献する喜びが生じる。また、多くの企業の人達と接して社会的・人間的視野が広がる

支部・地区行事の役割を達成するための過程において自己啓発ができる。そして、多くのQCサークル体験談を聞いたり評価して、QCサークル活動を身につけて良否の尺度を学び、社内での進め方がうまくなる

QCサークル大会などの行事に参画して、講評、討論会、講演などを多く聴取し相互啓発することにより、自己啓発やレベルアップができる。例えば、話し方や報告のまとめ方などが習得できる。そして幹事自身が講評・司会・パネル討論会のパネラーなどができるようになる

幹事研修会、工場（職場）見学、研修会などに参画して、他社のQCサークル活動の運営方法、品質管理の実施状況などを知ることができる。また、社内外のQCサークル活動の指導がうまくでき、交流会などの進め方も身につく

QCサークル支部、地区活動のみならず、本部をはじめ全国の活動状況や様子が把握できる

支部、地区行事の事務局や企画運営委員を担当して、企画・運営の能力を高めることができる

行事に参加した人達からの相談や質問に応じて、他社のいろいろの事情を知ることができると共に、仲間意識が芽生える

QCサークル指導士資格要件の1つを得られる